

モノコトイノベーション Mono-Coto Innovation 2016 山形大会予選

「モノコトイノベーション」とは、日本の未来を担う中高生の創造性を育み、そのアイデアを形にして競い合うコンテストで、「創造力の甲子園」とも呼ばれます。企業から提示されたテーマに対し、学校の垣根を越えて中高生がチームを組んでアイデアを形にしていきます。今年度は東京、山形、京都の3会場で地方予選が行われます。

山形大会予選は、8月19日（金）～21日（日）の3日間、山形銀行本店で行われました。県内外の中高生約70名が参加し、県内企業が提示した課題テーマに取り組みました。山形西高からは、放課後実験倶楽部の2年生5名が参加しました。

今回、県内企業から提示された課題テーマは、以下のとおりです。

株式会社IBUKI

「キャンプでもやりたい！キャンプだからこそ使いたい！そんな〇〇」

株式会社でん六

「同年代（中高生）が食べたくなる・手に取りたくなる豆菓子」

後藤電子株式会社

「振動エキサイターを用いた次世代型スピーカー」

Spiber 株式会社

「新しいカリキュラムの創造」

8月19日（金）にはじめて顔を合わせた中高生は、企業からテーマに関する説明を受け、希望テーマごとにチームを編制しました。その後、企業への取材や話し合いを重ね、チームでアイデアを出し合い、そのアイデアを形にしていきました。

最終日の8月21日（日）、プレゼンテーションによる審査が行われ、テーマごと3チームが12月に開催される山形大会決勝に進むことになりました。

西高生が参加した決勝進出チームは、以下の3チームです（[]内はテーマ企業名）。

でん七 [株式会社でん六]

HIT [後藤電子株式会社]

SUN [後藤電子株式会社]

これからさらにワークショップを重ね、山形大会決勝に臨み、全国決勝を目指します。

